

# 緊急報告 原発の真実を暴露します

二〇〇年、原発の現場で働いた、平井さんの遺書  
[http://genpatsu\\_shinsai.tripod.co.jp/hirai/](http://genpatsu_shinsai.tripod.co.jp/hirai/)

## 私は原発で現場監督をしていました

\*\*\*\*\*  
五年前、遺書になってしまった文章です。ご紹介します。

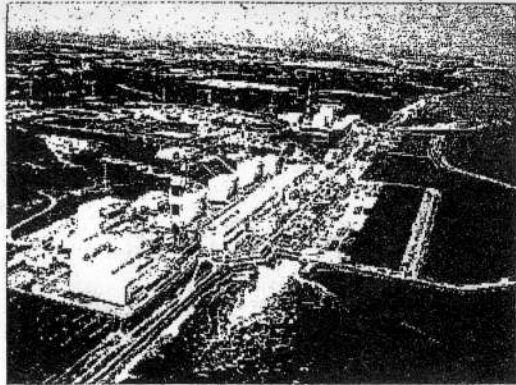
『私は「原発とはこういうものですよ」と、ほとんどの人が知らない原発の中のお話をします。

私は、巨大工場などの配管が専門です。二〇代の終わりごろに、日本に原発を造るということでスカウトされて、原発に行きました。現場監督として長く働きましたから、原発の中の話はほとんど知っています。

どうか、最後まで読んで、それから、原発をどうしたらいいか、みなさんで考えられたらいいと思います…』

平井憲夫さんは、原発を病気で引退した

子どもたちの未来に関心のある方は知っておいた方がいい事実だと思います



うわさの福島第一原発

あと、その真実を伝える活動を始めました。そしてたぶん、放射能の被曝によるガンのために、一九九七年一月、この世を去りました。この文章の全文はインターネット上で見るができます。

## ロボットが放射能で狂う

\*\*\*\*\*  
一九六六年、日本で初めての原子炉が、茨城県の東海村で稼動しました。厚い鉄でできた原子炉も大量の放射能をあげるロボットになるんです。だから、最初、耐用年数は十年だと言っていて、十年で廃炉、解体する予定でいました。

しかし、一九八一年に十年たった東京電力の福島原発の一号機で、当初考えていたような廃炉・解体が全然出来ないことが分かりました。このことは国会でも原子炉は核反応に耐えられないと、問題になりました。

この時、私も加わってこの原子炉の廃炉、解体についてどうするか、毎日のように、ああでもない、こつでもない検討をしたのですが、放射能だらけの原発を無理やりに廃炉、解体しようとしても、造るとき何倍ものお金がかかることや、どうしても大量の被曝が避けられないことなど、どうしようもないことが分かったのです。

机の上では、何でもできますが、実際には人の手でやらなければならないのですから、とんでもない被曝を伴うわけです。ですから、放射能がゼロにならないと、何にもできません。放射能があ

る限り廃炉、解体は不可能なのです。人間にできないのはロボットでという人もいます。でも、研究はしていますが、ロボットが放射能で狂ってしまったって使えないのです。

## よたよたの原発が いまだに

結局、福島原発では、廃炉にすることができないといつので、原発を売り込んだアメリカのメーカーが自分の国から作業員を送り込み、日本では到底考えられない程の大量の被曝をさせて、原子炉の修理をしたのです。今でもその原発は動いています。

最初に耐用年数が十年といわれていた原発が、もう三〇年近く動いています。そんな原発が十一もある。くたびれて三ヶ月になっても動かして続けていて、私は心配でたまりません。

※注/今回東京電力で問題になっているのが、この福島原発です。

## 金儲けにならない 閉鎖した原発…

なぜ、原発は廃炉や解体ができないのでしょうか。それは、原発は水と蒸気で

運転されているものなので、運転を止めてそのまま放置しておく、すべからず来てボロボロになって、穴が開いて放射能が漏れてくるからです。原発は核燃料を入れて一回でも運転すると、放射能だらけになって、止めたままでしておくことも、廃炉、解体することもできないものになってしまつたのです。

先進各国で、閉鎖した原発は数多くあります。廃炉、解体ができないので、みんな「閉鎖」なんです。閉鎖とは発電を止めて、核燃料を取り出しておくことですが、ここからが大変です。

放射能まみれになってしまった原発は、発電している時と同じように、水を入れて動力が続けなければなりません。水の圧力で配管が薄くなったり、部品の具合が悪くなったりしますから、定期点検もしてそういう所の補修をし、放射能が外に漏れださないようにしなければなりません。放射能が無くなるまで、発電しているときと同じように監視し、管理を続けなければならぬのです。

今、運転中が五一、建設中が三、全部で五四の原発が日本列島を取り巻いています。これ以上運転を続けると、余りにも危険な原発もいくつかあります。しかし、日本の電力会社が、電気を作らない、金儲けにならない閉鎖した原発を本気で監視し続けるか大変疑問です。

## 近くの海に捨てて いました

それから、原発を運転すると必ず出る核のゴミ、毎日、出ています。低レベル放射性廃棄物、名前は低レベルですが、このドラム缶の側に五時間もいたら、致死量の被曝をするようなものもあります。そんなものが全国の原発で約八〇万本以上溜まっています。

日本が原発を始めてから一九六九年までは、この原発でも核のゴミはドラム缶に詰めて、近くの海に捨てていました。その頃はそれが当たり前のことでした。私が茨城県の東海原発にいた時、業者はドラム缶をトラックで運んでから、船に乗せて、千葉の沖に捨てて行っていました。

しかし、私が原発はちよつとおかしいぞと思つたのは、このことからでした。海に捨てたドラム缶は一年も経つと腐ってしまつたので、中の放射性のゴミはもうなるのだから、魚はもうなるのだから、かと思つたのがはじめでした。

## 中学生の女の子が 手を挙げて、叫んだ 言葉とは…

私が五年程前、北海道話をしていた時、「放射能のゴミを五〇年、三百年、監視し続けなくては行けません」と叫ぶ

たら、中学生の女の子が、手を挙げて、「お聞きしていますか。今、廃棄物を五〇年、三百年監視するといいますが、今の大人がするんですか？ そうじゃないでしょう。次の私たちの世代、また、その次の世代がするんじゃないんですか。だけど、私たちがいやだー」と叫ぶように言いました。この子に返事の出来る大人はいませんが。

それに、五〇年とか三百年とかいつまで経ってはいいたというふうに聞かれますが、そうじゃありません。原発が動いている限り、終わりのない永遠の五〇年であり、三百年だといつていいです。

## 原発ってこんなに ズサンで、いい加減なもの

いかがでしたか。この文章は、全体の中から、ほんの一部を抜き出したものですよ。これだけでも、私にすれば、かなりシロツキングでした。

すべてを読むとわかりますが、『原発ってそんなにズサンな、いい加減なものだったの？』と、呆れてしまいます。この事実は、日本に住む者であれば、必ず知っておく必要があると感じます。原発は今すぐ止めないと大変なことになりま